

発行元：國造神社総代会広報 2016. 4. 14

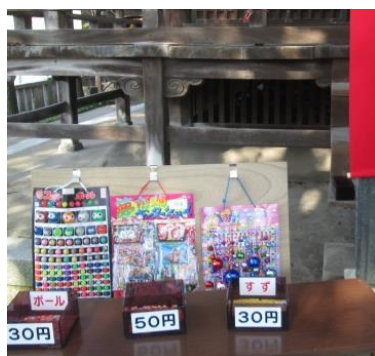
花冷えの春祭り 参拝客200人超す



↑田中宮司から感謝状を贈られる鈴木さん。左下手前は高田さん

國造神社の春祭りは4月11日から3日間の日程で行われ、初日は花冷えの寒い一日、最終日は強風と雨の悪天候でしたが、多くの氏子さんのお参りを頂きました。氏神様詣は着実に、静かな人気を呼んでいると思われ、春祭りの人出も前年並みの200人を超す賑わいを見せました。12日の式典後、氏子総代を退任された永年勤続の鈴木啓三郎さん（3年8カ月、泉誠交会）と高田四郎さん（2年、野町協栄会）に田中正真宮司から感謝状が贈られました。鈴木さんの後任は宮永実さん（泉3丁目）、高田さんの後任は太田享さん（野町5丁目）です。また、1年任期で交代された鹿又利明さん（野町・一心会）の後任は桜町征布さん（泉本町4丁目）が務めます。これからの神社の賑わい創出に尽力いただく力強い助っ人です。

くじ引きコーナー新設 子供たちにお祭りを楽しんでもらおうと、拝殿階段横にボールや鈴が当たるくじ引きコーナー＝写真左下＝を設けました。参拝に来た子供は目ざとく見つけ、目を輝かせてゲームに興じていましたが、付き添いの母親も屋台が出た頃の郷愁を感じてか一緒にゲームを楽しむ微笑ましい光景が繰り広げられました。



境内広場を整地 泉伝統芸能保存会は3月28日、境内の泉文化会館前広場の整地＝写真右下＝を行いました。槻勇次会長ら保存会メンバー6人がトラック2台分4トンの砂利を補充し、7月17日の泉じょんがら踊りに備えました。

